
JISA&青翔開智(鳥取)協働プロジェクト

「中学校デジタル化 in 青翔開智」

～ソフトウェアの力で学校教育のデジタル化する『探究通信簿』～

平成 29 年 11 月 6 日(月)、青翔開智中学高等学校(鳥取)にて JISA 中学校デジタル化プロジェクト



による「中学校デジタル化 in 青翔開智～ソフトウェアの力で学校教育のデジタル化する『探究通信簿』～」が開催された。参加者は 28 名。現地の企業からも多数の参加があった。

JISA では、「JISA Spirit」の実現に向けた象徴的な取組として、革命プロジェクトを実施している。その一環として、本プロジェクトチームでは ICT 教育



で先進的な取組を行っている鳥取県の青翔開智中学・高等学校との連携により、IT の力を利用して学習効果を高めるための調査や意見交換を進めてきた。このイベントでは、『探究学習』を中心に先進的な教育現場を体験・見学するとともに、プロジェクトの成果発表(中間報告)会を行った。

冒頭、横井理事長(青翔開智中学高等学校)と、横塚会長(東京海上日動システムズ(株))から、開会の挨拶があり、両組織の連携により IT の利用により日本の将来を担う人材の育成に取り組むことが確認された。

次に、青翔開智中学高等学校による学校見学が行われ、先進的な ICT 教育施設、授業風景(一般授業・探究学習)、同校における探究学習への取組等について説明を受けた。

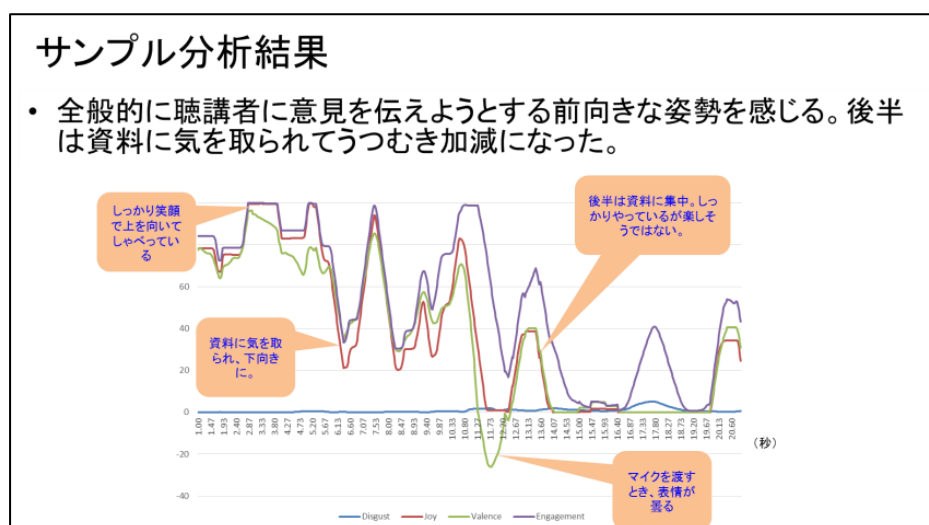


その後、中学生 3 名による探究学習についてのプレゼンが行われた。本プロジェクトでは、映像解析やテキストマイニングなどの IT 技術を活用して、データ駆動型の評価を実現するプロトタイプモデルを作成している。今回も取組の成果報告をするとともに、中学生

のプレゼンについてリアルタイムで「評価」を行った。ここで注意していただきたいのは、「評価」といっても点数や善し悪しをつけるものではなく、生徒の表情を分析することでプレゼンテーション能力向上の可能性について検討しているものである。



※この取組の詳細については、JISA 会報 127 号 (2018 年 1 月発刊) に掲載予定。詳細については是非そちらをご覧ください。



最後に、プロジェクト担当の島田副会長((株)CAC Holdings)より閉会の挨拶があり、①引き続き青翔開智と協力しプロジェクトを進めていくこと、②JISAは引き続き様々なIT技術の教育現場での応用に取り組むこと、③日本の教育の高度化に対して会員各社の協力を得ながら今後も力を入れていくこと、について話があった。

この取組について、平成29年11月16日(木)15:00~16:00にJISA応接室にて、イベント実施報告を兼ねて東京での説明会を開催する。より多くの人にこの取組について知ってもらいたいと考えている。

(増田)